



2016年3月期上期

# 連結決算の概要

## テルモ株式会社

代表者 代表取締役社長 新宅 祐太郎  
問合せ先責任者 広報室長 大曲 昌夫

TEL : 03-6742-8550

E-mail : [kouhou\\_terumo01@terumo.co.jp](mailto:kouhou_terumo01@terumo.co.jp)

URL : <http://www.terumo.co.jp/>

2015年11月5日

# 2016年3月期 上期

## 決算概要

テルモ株式会社  
 上席執行役員 IR・広報室担当  
 北畠 一明

2015年11月5日

### 決算総括：売上・営業利益ともに二桁伸長

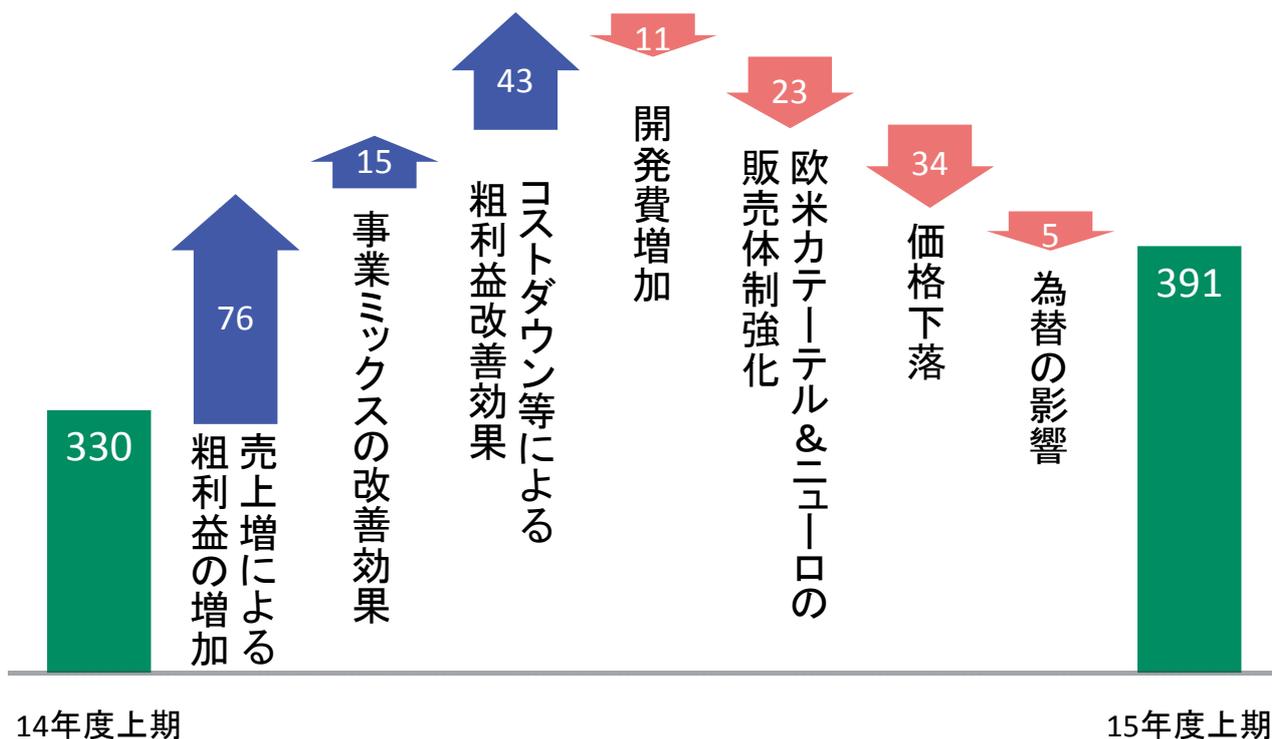
(億円)

	14年度上期	15年度上期	増減率	為替除く
売上高	2,333	2,592	+11%	+5%
粗利益	1,229 (52.7%)	1,394 (53.8%)	+13%	+8%
一般管理費	763 (32.8%)	844 (32.6%)	+10%	+3%
開発費	136 ( 5.8%)	159 ( 6.1%)	+17%	+8%
営業利益	330 (14.1%)	391 (15.1%)	+19%	+20%
(のれん等償却除く)	413 (17.7%)	493 (19.0%)	+19%	+16%
経常利益	340 (14.6%)	358 (13.8%)	+ 5%	
純利益	219 ( 9.4%)	270 (10.4%)	+23%	
期中平均レート	US\$ 103円	122円		
	EUR 139円	135円		

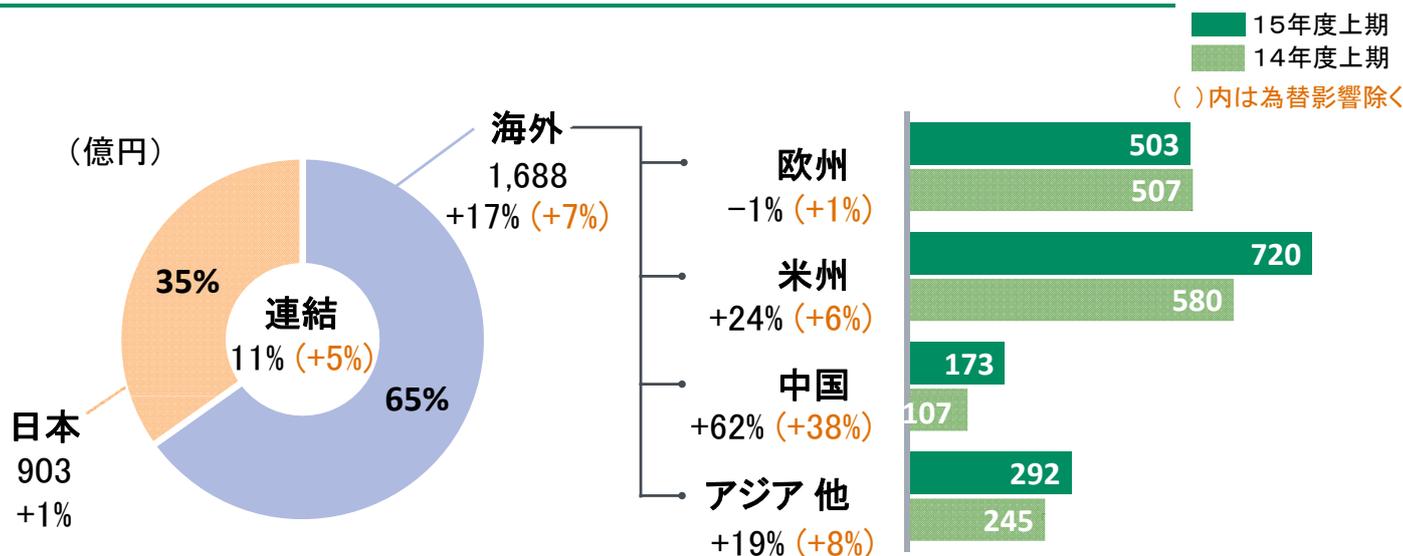
- 売上 : 全カンパニーで好調維持。北米中心に海外カテーテル、ニューロが大きく牽引
- 営業利益 : 売上拡大に伴う粗利益の増加が販管費の増加を上回る
- 経常利益 : 前年同期の為替差益(25億)に対し、今年度は差損(24億)
- 純利益 : 幡ヶ谷(東京都渋谷区)の土地売却。税制改正による法人税負担率の減少

# 営業利益増減分析

(億円)



# 地域別売上高

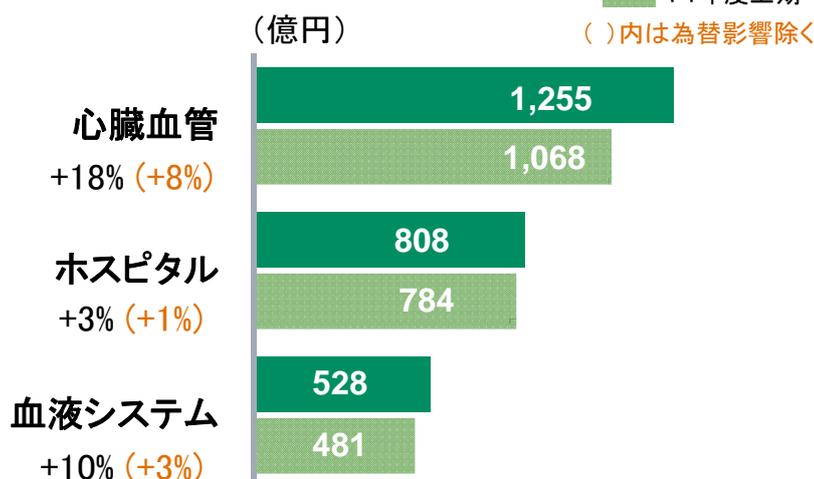
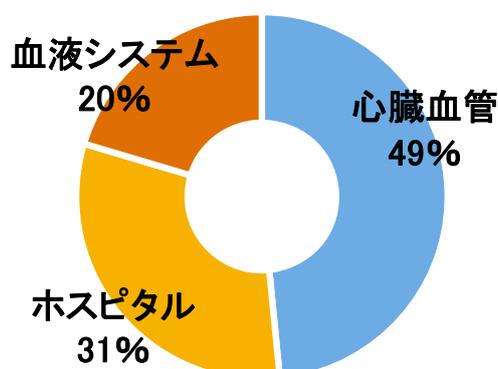


- 日本 : ホスピタルが全体を牽引し増収達成
- 欧州 : 心臓血管が伸長したものの、ホスピタル合理化、円高ユーロ安の影響受け減収
- 米州 : カテーテルやニューロの大幅伸長。血液の新価格移行遅れ
- 中国 : 昨年度行った商流の見直しが完了

# カンパニー別売上高

■ 15年度上期  
■ 14年度上期

( )内は為替影響除く



- 全カンパニーにおいて、為替の影響を除いても増収を維持
- 心臓血管および血液システムにおいて、海外が牽引し二桁伸長

## 心臓血管カンパニー：海外が牽引し、二桁の増収増益を達成

(億円)

	14年度上期	15年度上期	増減率	為替除く
売上高	1,068	1,255	+18%	+8%
事業利益(率)	215 (20%)	293 (23%)	+36%	+21%

### <売上面>

- 北米を中心に海外カテーテルやニューロの売上伸長 + 125億
- 中国での商流の見直し完了。顧客カバー率の拡大 + 53億
- 欧亜で「Ultimaster」(新DES)が順調に拡大。国内でも製造販売承認を取得

### <利益面>

- 海外カテーテルおよびニューロの売上拡大による利益増と  
ポートフォリオミックスの改善

## ホスピタルカンパニー: コスト改善活動により収益性は回復

(億円)

	14年度上期	15年度上期	増減率	為替除く
売上高	784	808	+3%	+1%
事業利益(率)	96 (12%)	117 (15%)	+22%	+25%

### <売上面>

- 日本: 腹膜透析や疼痛緩和を中心にD&Dが拡大 + 14億
- 日本: 回転品である基盤医療器やDMの回復 + 7億
- 欧米: ポートフォリオ再編の取り組み - 12億

### <利益面>

- 国内外の工場における継続的なコスト改善 + 8億

## 血液システムカンパニー: 新興国、アフェレシス治療が継続伸長

(億円)

	14年度上期	15年度上期	増減率	為替除く
売上高	481	528	+10%	+3%
事業利益(率)	93 (19%)	100 (19%)	+8%	+16%

### <売上面>

- アフェレシス治療や細胞処理システムが継続成長 + 27億
- 新興国中心に成分採血が伸長 + 12億

### <利益面>

- 米・血液センターで新価格移行のずれ込み(長期契約による物量増を交渉)
- 米国生産・欧州販売製品での対ドル・ユーロ安によるマイナス影響

## Q2 主なトピックス

### 全社

- 約110億円の自社株買いの実施(株式の持ち合い解消)
- 社員の健康増進に取り組む企業14社で「KENKO企業会」を設立

### 事業

- ヒト(自己)骨格筋由来細胞シート「ハートシート」の国内製造販売承認を取得(9月18日)
- 薬剤溶出型ステント「Ultimaster」の国内製造販売承認を取得(8月10日)
- カネカ社との共同開発品、末梢血管用PTAバルーンが米国で承認取得
- カテーテル・がん治療分野の蘭ベンチャーへ投資
- 皮内投与型デバイス(薬剤を除く)の国内製造販売承認を取得



9/10

## 15年度パイプライン製品のローンチ状況

領域	製品		地域	ローンチ	領域	製品		地域	ローンチ
心臓	DES (Ultimaster)	◎◎ ★	日	Q2承認 10・1発売	CV	遠心ポンプ・ディスポ (PCPS用)		日	
	次期血栓吸引 カテーテル		欧・南米・亜		血液	自動薬剤化システム	★	日	
ペリ フェラル	ステント (Misago)	★	米	Q1					
	ステント細径化 (Misago)		欧						
	PTAバルーン(膝上)		欧・米	Q2					
	PTAバルーン(膝下)		日						
	塞栓用ビーズ	★	欧	Q1					
脳	コイルアシスト・ステント	◎	日	Q1					
	液体塞栓剤	★	欧	Q1					
	プロテクションデバイス	★	欧						



DES「Ultimaster」  
国内製造販売承認  
10月1日発売



PTAバルーン「Metacrosss RX」  
カネカ社共同開発品  
米国ローンチ

◎ 業績貢献大、★ イノベーション度高



10/10

# 2016年3月期 上期 連結決算 補足資料

## セグメント別売上概況

(単位:百万円)

%=前年同期比

	2015年3月期 上期			2016年3月期 上期					
	日本	海外	合計	日本	%	海外	%	合計	%
IS	17,025	56,055	73,081	16,063	-5.7%	69,846	24.6%	85,910	17.6%
ニューロバスキュラー	1,119	7,393	8,513	1,117	-0.1%	11,236	52.0%	12,353	45.1%
CV	4,363	14,604	18,967	4,625	6.0%	16,145	10.6%	20,771	9.5%
血管	958	5,314	6,272	967	1.0%	5,539	4.2%	6,506	3.7%
心臓血管カンパニー	23,466	83,367	106,834	22,774	-2.9%	102,768	23.3%	125,542	17.5%
基盤医療器	23,949	14,250	38,199	24,241	1.2%	14,065	-1.3%	38,306	0.3%
D&D	25,860	2,542	28,403	27,278	5.5%	2,707	6.5%	29,985	5.6%
DM・ヘルスケア	10,113	1,676	11,790	10,485	3.7%	2,052	22.4%	12,537	6.3%
ホスピタルカンパニー	59,924	18,469	78,394	62,004	3.5%	18,825	1.9%	80,830	3.1%
血液システムカンパニー	6,033	42,047	48,081	5,564	-7.8%	47,230	12.3%	52,794	9.8%
計	89,424	143,885	233,309	90,343	1.0%	168,823	17.3%	259,167	11.1%

(期中平均為替レート)

(US\$1=¥103.01)  
(EUR1=¥138.90)

(US\$1=¥121.87)  
(EUR1=¥135.11)

## キャッシュ・フロー計算書(要約)

	2015年3月期 上期	2016年3月期 上期
営業キャッシュ・フロー	27,678	34,670
投資キャッシュ・フロー	△ 20,108	△ 4,420
フリーキャッシュ・フロー	7,569	30,250
財務キャッシュ・フロー	△ 2,770	△ 17,289
現金及び現金同等物の換算差額	3,218	△ 951
現金及び現金同等物の増減	8,017	12,009
現金及び現金同等物の期首残高	92,498	176,662
現金及び現金同等物の期末残高	100,515	188,671

## 参考情報

	2015年3月期 上期	2016年3月期 上期	2016年3月期 見通し
研究開発費	13,576	15,871	35,000
設備投資額	21,154	14,862	36,000
減価償却費	19,572	21,990	45,000
一株当たり当期純利益(円)	57.62	71.50	128.73

テルモの開示資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。様々な要因により、実際の業績等が変動する可能性があります。実際の実績に影響を与える重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。